

# 一年学年だより

No. 3 【6月号】

令和3年5月31日発行

皆さんはこの曲を知っていますね？

「何のために生まれて何をして生きるのか、答えられないなんてそんなのは嫌だ！」

「何が君の幸せ、何をして生きるのか、わからないまま終わる そんなのは嫌だ！」

そうです、アンパンマンのマーチです！先日4歳と2歳の息子二人とアンパンマンをテレビで見ている時、この歌詞があまりにも秀逸であることに改めて気付きました。まるでアンパンマンに「君の人生の目的はいったい何で、君にとっての幸せって何なの？」と問われているようです。この問いは年齢を問わず、本来全ての人間が避けては通れないものだと考えています。しかし幸せの定義は人それぞれ異なり、満足することも、嬉しいと感じるポイントもみんな違うでしょう。そこで私なりに「自分の幸せ」とは何なのかを改めて考えてみました。

私にとって幸せの軸は2つあると考えています。1つは家族との時間です。もう一つは「自己実現」です。しかし何をもって「自己実現」というのかもまた人それぞれです。私にとってのそれは、自分の得意分野を最大限生かし「自分が勝負できるフィールド」で、世の中に貢献できる人間になることです。人間には必ず得意分野と不得意分野があります。そこを自分で見極め、得意分野（自分が勝負できるフィールド）で正しく努力することでこそ報われることや、世の中のためになることは多いと思います。自分にしかできないことや、自分の持ち味を認識し、その分野で活躍できる人は幸せだと私は思います。

私自身、実はまだ「自分が勝負できるフィールド」を模索中ですが、一生自分の可能性を追求し、現状に満足することなく努力し続けられる人間でありたいです。

では、皆さんにとっての幸せとは何ですか？

(102HR 担任)

皆さんはこの曲を思い出せますか？

「今を生きることで熱い心燃える」

「忘れないで夢をこぼさないで涙」

そうです、アンパンマンのマーチです！作詞はアンパンマンの作者でもある「やなせたかし」さんです。従軍経験のあるやなせさんは、「正義のヒーロー」とは何かを考えた際、「人間が一番つらいのは食べられないことだ」という結論に達し、「身を削って食べ物を与えるヒーロー」を誕生させたそうです。つまり、アンパンマンの存在自体に、そしてテーマソングにも、「生きる」ことへのメッセージが込められているのです。

もちろん「生きる」ことは、「食の充実」だけがすべてではありません。（私にとってはものすごく大きな要素ですが……。）やはり、「夢」が必要です。私自身、皆さんの3倍近く生きてきた中で、様々な「夢」とともに歩んできたように思います。幼い頃に抱いた壮大な夢から始まって、人生の折り返しを過ぎようとする今抱く現実的な夢に至るまで、本当にたくさんの夢が思い出されます。叶ったもの、叶わなかったもの、今からでも叶えようとしているもの……。「叶う」という結果は大事ですが、「夢」があったからこそがんばれたという過程も大事でしょう。

「明日に向かい今を生きる」

今年はコロナの影響で、校歌を歌う機会がほとんどありません。中央高校の校歌の歌詞はとってもすてきです。「明日に向かい」＝「夢を抱いて」、「今を生きる」＝~~「存分に食べる」~~「今やるべきことから逃げない」ってまさにアンパンマン。

君たちが夢の途中で傷ついたら、ジャムおじさん（親族・友人・教員）が新しい顔を焼いてくれるさ。

(102HR 副担任)